

学校と家庭の Partnership

新しい年度が始まり、早くも一か月が過ぎました。この一か月の間、子供たちは新しい学年・学級という環境にすっかり慣れ、日々の学習や学校生活に前向きに取り組んでいます。

校長として、本校の学校教育目標や合言葉である「自立・貢献・気品」を、早くも実際の姿として表している子供たちの様子に、大きな喜びを感じています。

また、22日から三日間にわたって行われた授業参観・懇談会には、多くの保護者の皆さまにご参加いただき、誠にありがとうございました。

授業参観では、正解を求めるだけでなく、子供一人一人が自分なりに考え、学びに向かっている姿を見ていただけたことと思います。その姿は大変頼もしく、これからの学習の積み重ねが楽しみになる時間となりました。

また、授業参観と懇談会の間に行いました全体会では、私から学校経営の方針と同時に、学校と家庭が Partnership を組んで児童生徒を守り育てることができるよう、校長としての想いを伝えさせていただきました。



中学 3 年間の学びをどう支えるか

中学 3 年間は、目先の結果を出すための時期ではなく、将来にわたって学び続ける力を育てる大切な期間です。思春期特有の揺れや反発、成績の変動も成長過程の一部と捉え、学校と家庭が同じ視点で、子供たちの「自立した学び」を長い目で支えていきましょう。

小学校高学年は、本音を見極める

高学年は、自身の力を伸ばすとともに、その力を姿で示す時期です。本物に触れ、本質を考えながら学ぶ姿、本気で挑戦する姿を大切にし、私たち大人は、子供たちの言葉の裏にある本音にも目を向け、成長を支えていきましょう。

小学校低学年は、 安心して失敗できる環境づくり

低学年は、失敗と成功を繰り返しながら成長する時期です。失敗しても安心して挑戦できる環境が、自己肯定感と自立心を育てます。学校と家庭がともに、子供たちの安心してできる居場所であり続けたいと考えています。

教育も子育ても、正解はないですし、答えが出ることはありません。日々成長する子供たちを目の前にしていると不安になること、疑問を感じることもあると思います。ですから、学校と家庭が互いに信頼し協力し合って Partnership を築くことが大切だと考えています。

引き続きどうぞよろしくお願いいたします。

= ロンドン日本人学校ニュース（４月の様子） =

入学式

春のやわらかな日差しの中、小学部・中学部の入学式を挙行し、新入生を迎えました。子供たちは、少し緊張しながらも希望にあふれた表情を見せていました。校長や担任の話にしっかり耳を傾け、来賓や保護者に見守られながら、ロンドン日本人学校での学校生活を力強くスタートさせました。



1年生を迎える会

6年生が中心となって「1年生を迎える会」が行われました。学校生活の紹介やクイズ、歌の発表など、1年生が安心して学校に親しめるよう工夫された内容となりました。6年生が優しく



声をかけ、手を引いて案内する姿からは、本校ならではの温かな人間関係が感じられました。会を通して、1年生は学校生活への期待を高めるとともに、全校が一つの仲間としてつながる大切な時間となりました。

授業の様子

各学年・学級では授業が本格的に始まり、児童生徒は新しい学習内容に前向きに取り組んでいます。少人数ならではの対話を大切にした授業や、ICTを活用した学習など、それぞれの学年に応じた活動が展開されています。



また、年度当初には避難訓練を実施し、非常時の行動や安全な避難経路について全校で確認しました。

清掃の時間には学年の枠を超えて協力しながら校内を整え、学校を大切にしようとする姿が見られました。本校の合言葉である「貢献」の姿です。

